



八王子市議会の女性議員は？

2025年(現在)
38人中(定数40人)13人 **増えた**



生活者ネットワークは、議会の多様性を確保するために議員男女比50:50を目指します。

八王子市議会

Vol. 2

地域のことを地域で考え、決定していく「自治」。市民と行政の顔の見える関係性が作れる基礎自治体だからこそできることがあります。問題山積の国の施策を動かすためにも、**自治体から変える、変わる。もつともつと、多様な市民の声**が反映される市議会に。

注目！市議の発言

一般質問テーマランキング

2023年6月～2025年12月

1位：学校・教育関連

学校給食無償化、給食センター整備に伴い学校給食に関する質問が増加
不登校、学校再編など課題が多い

2位：子育て・保育

子どもの居場所、保育、虐待防止など
子育てしやすい環境整備について

3位：介護・高齢者

介護保険関連や認知症、高齢者の暮らしに関連したもの

その他、公園、道路などのインフラ整備、駅前整備、まちづくりの関連も多く見られました。

※一般質問の発言通告からテーマごとに集計

市議はいくらもらってる？

議員報酬(月額)

八王子市議会 期末手当のほか、委員長・議長など役職には別途手当あり。金額は報酬審議会で審議されています。

◆全国市議会 平均42.64万円(2024年)

◆人口50万人以上の市議会(八王子市と同等規模)(特別区・指定都市除く7議会) 平均64.2万円

※全国市議会議長会 市議会議員報酬に関する調査結果(令和6年)より

八王子市議会の政務活動費は：6万円/月

1円から領収書添付が必要。

領収書は、市議会事務局で閲覧可能。

年間収支報告書は、市議会ホームページで公開。

生活者ネットワークの議員は、議員報酬の一部を資金管理団体に寄付します。その資金管理団体からの寄付は生活者ネットワークの活動資金の一部となります。収支報告書はホームページに公開しています。

金子アキコ 玉正さやか

一般質問で取り上げたテーマ

福祉

介護保険事業、情報保障、認知症ケアラー支援、障がい者支援、移動支援

子育て・教育

英語スピーキングテスト、ケアリーパー外国人ルーツの子ども、子どもの権利子ども若者の居場所

女性・人権

男女共同参画、困難女性支援

環境

生物多様性、PFAS

まちづくり

公契約、地方自治、市民参画など

少しずつ前進 市議会と市民の対話

<所管事務調査>

議会改革の一環として、議会の政策提案力を高める目的で、2021年から常任委員会で所管事務調査が始まりました。

各委員会は2年毎にテーマを設定し、市長への提案としてとりまとめ、提出しています。テーマに関連する団体へのヒアリング等を通じて、市民との意見交換も行われるようになってきています。

<行政視察>

年に一度、各常任委員会毎に、先進自治体事例の研究や現場視察等を目的に、2泊3日で行政視察を行っています。

所管事務調査のテーマに関連する現場を選ぶようになったため、目的がより明確となってきています。

<議会報告会>

議会基本条例が施行された2014年より開催されています。これまでの壇上報告型から、内容や形式の工夫を重ねてきました。2024年には、長房中学校で、議員と中学生が少人数で対話する形式を実施。小さな輪で気軽に話せる形が好評でした。

議会改革については2025年度より、地方自治法100条に基づいた「議会機能向上」「広報公聴」の2つの協議会が設置され、目的別に議論されることになりましたが、今年度の議会報告会開催等の具体的な動きはまだありません。

<三位一体でより充実した政策提案を>議会報告会を常任委員会毎に、所管事務調査のテーマで開催し、行政視察の報告等も行うことで、テーマに関心ある市民との対話を深め、政策提案の充実を図っていくよう働きかけていきます。

「傍聴に行こう」ツアーやってます

3月議会予算審議は注目ポイントがたくさんあります

3/13(金) 厚生・都市環境分科会審査1日目



政策ミーティング 国民保護計画のパブコメ討議

「市民と〇〇の政策ミーティング」

くらしのこと、市政のこと、お話ししましょう。

- 金子アキコ 4/1(水)
- 玉正さやか 4/20(月)

※詳細はHPをご覧ください





玉正 さやか

厚生委員 まちづくり公社諮問委員
表彰審査委員会委員

質疑動画は
こちらから



ケアリーバー（社会的養護経験者）への
アフターケアの充実に向けて

児童養護施設や里親家庭などの社会的養護経験者の若者の多くは、自立後に孤独・孤立や経済的な課題等様々な困難を抱えるケースも少なくありません。措置解除以前の段階から、はちびバ等市の関係所管との接点を持ち、自立後にも相談しやすい関係性の構築が進められていることを確認しました。また、経済的な課題に対し、10月に施行された改正住宅セーフティネット法において住宅確保要配慮者への支援の強化がうたわれていることを踏まえ、ケアリーバー等若者を対象とした住宅支援施策の推進を求めました。

市長からは今後、行政機関、教育機関、福祉事業所等との連携強化により、若者が孤立することなく、健やかに成長できる地域づくりを推進していくとの答弁がありました。

玉正さやかの FB・インスタをチェック!



高齢者の尊厳を守るための終活支援

今後、一人暮らし高齢者の増加が見込まれる状況において、個々の高齢期の生活の質を高め、最期まで尊厳が尊重されるためには医療や介護が必要になる前に自らの考えや価値観を整理しておくことが欠かせません。※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の重要性についての市の認識を伺うとともに、亡くなった後も尊厳が守られるための事前の備えについて質疑を行いました。市からは、ACPは人生を豊かにし意思を尊重する考え方であり、医療機関や福祉施設など様々な場面で周知啓発に取り組むとの答弁がありました。終活について分野横断的に相談できる総合窓口や登録制度など、一人ひとりの生き方や価値観を尊重できるような仕組みの構築は、今後の高齢者福祉施策として欠かせない課題であると考えます。

※ACP 将来の医療や介護に備えて本人がどんな生活を大切にしたいか、どのような治療やケアを希望するか、これまでどんな価値観や考え方を基に生きてきたかといったことを整理し、家族や医療・介護関係者と継続的に話し合い意思決定を支援する取組



金子 アキコ

都市環境委員 議会運営委員
都市計画審議会委員

質疑動画は
こちらから



を解決していく仕組みとして立ち上げた地域づくり推進会議等と、決定の前段階から調整する仕組みを整えるよう求めました。

若年層のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツにどう向き合うか

家庭や学校において性についての適切な知識を学ぶ機会がない現状で、若年層への啓発や相談の機会の提供について質問を行いました。現在若年層への啓発はあるのですが、単発的で、連続した繋がりを持つ性教育とは捉えにくいところに課題があります。まちの保健室など、若年層が自分の心身について学び相談ができる第3の居場所について提案しました。また、子どもをとりまく大人への啓発の必要性を訴えました。

金子アキコの FB・インスタをチェック!



公共施設マネジメントと市民参加

南大沢2丁目の公共施設(子ども家庭支援センター・高齢者あんしん相談センター・ボランティアセンター)が機能移転により空きとなり、現在同物件は売却の手続きが進められています。この施設売却決定までの過程について南大沢中学校地区地域づくり推進会議から意見を受け、今回質問に至りました。公共施設の廃止・売却の際、施設利用者への意向調査、町会・自治会への事後報告は行われるものの、検討段階での、地域住民への情報公開や意見聴取の機会がないことは問題です。市は公共施設マネジメント計画で公共施設縮小の方針を示しており、今後施設の機能廃止・売却が増えることが予想されるなか、行政と市民が共に地域課題



カタリバCINEMA上映会に参加「小さな大橋農園」の大橋さん(中央)とともに 玉正(左) 金子(右)



「人権・権利について学ぼう」インクルーシブ教育の課題と共有について」に参加(前列左が玉正)



「武蔵野郵便局過労死の責任を求める会」結成集会後のデモ行進に参加(右3人目が金子)